

令和元年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（第2次公募・新規）採択結果一覧

ロボット分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	ロボット高高度気球と成層圏ドローンの実用化開発	ロボット化した高高度気球の、ドローンとの連携及び大型化により、広範囲の測量や情報収集、通信などを実現する。防災災害時等における広範囲の情報収集、高高度通信網の整備を見込む。また、高高度を活かし、宇宙実験や宇宙開発のプラットフォームの実用化を行う。	(株)岩谷技研 «9380001026709»	いわき市
2	狭所環境等非 GPS・過酷環境における 3次元測量用自律飛行レーザードローンの開発	日本でのトンネルや橋梁及び化学プラント内など狭所環境での定期点検、海外においては鉱山などの暗所地下空間の坑内地形を高精度で測量するための非 GPS 環境下での自律飛行レーザードローンを開発する。そのために、レーザーレンジスキャナー (LiDAR センサー式) を利用する位置推定とマッピングの同時実行処理のできる SLAM 自動運転システムと、衝突回避機能を装備して構内の狭小空間をも安定して飛行できる炭素繊維複合材料製ドローンを開発する。	Terra Drone(株) «5011001109543»	南相馬市
			ADJ 福島(株) «6380001029961»	
3	ジェットエンジンドローンの実用化開発	物流や点検、警備など様々な用途で長時間運用可能なドローンが必要とされている。現在のドローンの動力源は、多くが Li-Po バッテリーであるが、バッテリーの重量が大きいため、複数を並列使用しても比例して巡航時間が伸びるものではなく、特に離陸重量が数十 kg になる大型ドローンでは 15 分から 20 分程度の飛行時間しか確保できない。この結果、多くの事例や案件で要件を満たすことができていない。本実用化開発では、小型ジェットエンジンを高出力な発電機として用い、高ペイロードかつ大型で長時間運用が可能なドローンの実用化開発を行う。	(株)プロドローン «3010001165350»	南相馬市
			YSEC(株) «6020001044138»	

環境・リサイクル分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	使用済みリチウムイオン電池を活用したバイパスシステムの実用化開発	個体毎にばらつきが大きい使用済みリチウムイオン電池を、無駄なく組み合わせることが可能となるバイパスシステムの開発により、家庭用及び、産業用の蓄電池システムとしてリユースの実用化を行う。	(株)タジマモーターコーポレーション «2011201006691»	南相馬市